

模擬-1 解答と解説

※Excel 2007の解答と解説はP.206、Excel 2003/2002の解答と解説はP.214に記載しています。

◆完成例

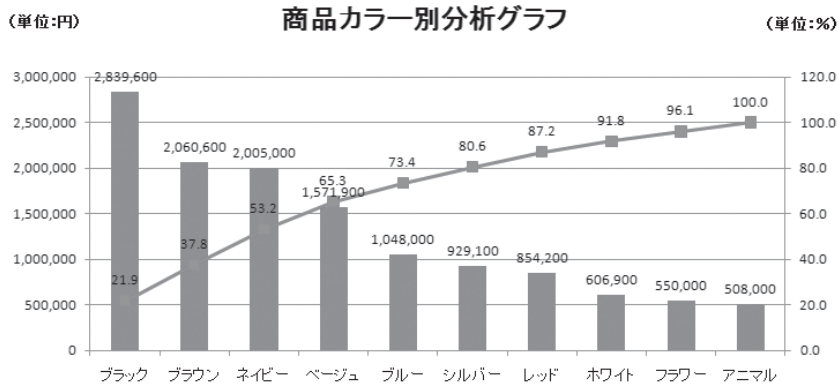
(ファイル「売上集計表.xls」の内容)

●シート「売上集計表(4月)」

メーカー別シヨルダークラック売上集計表(2009年4月)							
メーカー	商品名	前月売上高(円)	売上高(円)	売上原価(円)	粗利益(円)	粗利益率(%)	前月比(%)
ダイアン	デニムシヨルダークラック・ネイビー	600,000	575,000	319,240	255,760	44.5	95.8
	デニムシヨルダークラック・ブルー	525,000	500,000	278,200	221,800	44.4	95.2
	小計	1,125,000	1,075,000	597,440	477,560	44.4	95.6
プリティ・プリティ	ブリティアニマルシヨルダークラック	350,000	332,500	217,455	115,045	34.6	95.0
	ブリティシヨルダークラック・フラワー	262,500	280,000	180,240	99,760	35.6	106.7
	小計	612,500	612,500	397,695	214,805	35.1	100.0
スター・レザークラック	シルバークラック	255,000	229,500	148,095	81,405	35.5	90.0
	スターシヨルダークラック・ブラウン	547,200	790,400	467,220	323,180	40.9	144.4
	スターシヨルダークラック・ブラック	699,200	942,400	631,470	310,930	33.0	134.8
	スターシヨルダークラック・ベージュ	760,000	425,600	251,580	174,020	40.9	56.0
	スターシヨルダークラック・ホワイト	334,400	273,600	156,780	116,820	42.7	81.8
	スターシヨルダークラック・レッド	304,000	212,800	132,230	80,570	37.9	70.0
小計	2,899,800	2,874,300	1,787,375	1,086,925	37.8	99.1	
合計	4,637,300	4,561,800	2,782,510	1,779,290	39.0	98.4	

●シート「商品カラー別ABC分析」

商品カラー別ABC分析表				
売上順位	商品カラー	売上高(円)	売上構成比(%)	売上構成比累計(%)
1	ブラック	2,839,600	21.9	21.9
2	ブラウン	2,060,600	15.9	37.8
3	ネイビー	2,005,000	15.5	53.2
4	ベージュ	1,571,900	12.1	65.3
5	ブルー	1,048,000	8.1	73.4
6	シルバー	929,100	7.2	80.6
7	レッド	854,200	6.6	87.2
8	ホワイト	606,900	4.7	91.8
9	フラワー	550,000	4.2	96.1
10	アニマル	508,000	3.9	100.0
合計	-	12,973,300	100.0	-



売上集計表(4月) 商品カラー別ABC分析



解答のポイント

問1 商品カテゴリの文字を取り出す

商品カテゴリごとに集計するために、「商品コード」の文字列から商品カテゴリを表している文字を取り出します。「商品コード」の中央の1文字が商品カテゴリを表しています。文字列の任意の位置から指定された数の文字を取り出すには、MID関数を使います。

問2 商品カラーの文字を取り出す

商品カラーごとに集計するために、「商品コード」の文字列から商品カラーを表している文字を取り出します。「商品コード」の末尾の3文字が商品カラーを表しています。文字列の末尾から指定された数の文字を取り出すには、RIGHT関数を使います。

問2 複合グラフ

棒グラフと折れ線グラフといったように、2種類以上の異なる種類を組み合わせたグラフのことを「複合グラフ」といいます。「売上高」と「構成比累計」など、異なる種類のデータをひとつのグラフで示す場合に使います。

大きな開きのあるデータや単位の異なるデータを複合グラフにする場合は、それぞれのグラフを見やすくするために「第2軸」を表示します。



操作のポイント

MID関数

文字列の任意の位置から指定された数の文字を返します。

`=MID(文字列, 開始位置, 文字数)`

①

②

③

①文字列

取り出す文字を含む文字列またはセルを指定します。

②開始位置

文字列の何文字目から取り出すかを指定します。

先頭文字から「1」「2」「3」・・・と数えて、開始位置を数字で指定します。

③文字数

取り出す文字数を指定します。

RIGHT関数

文字列の末尾から指定された数の文字を返します。

`=RIGHT(文字列, 文字数)`

①

②

①文字列

取り出す文字を含む文字列またはセルを指定します。




②文字数

取り出す文字数を指定します。

※文字数は、省略できます。省略すると、「1」を指定したとみなされ、右端の1文字が取り出されます。







ファイル「売上実績データ」「売上集計表」を開いておきましょう。

- ①  (スタート)をクリックします。
- ② 《ドキュメント》をクリックします。
※Windows XPの場合は、 スタート → 《マイドキュメント》をクリックします。
- ③ フォルダ「日商PC検定データ活用2級完全マスター」をダブルクリックします。
- ④ フォルダ「模擬試験」をダブルクリックします。
- ⑤ ファイル「売上実績データ」を選択し、 を押しながら、「売上集計表」を選択します。
- ⑥ 選択したファイルを右クリックし、《開く》をクリックします。

問1

●VLOOKUP関数(メーカー・商品名・販売単価・仕入単価の表示)

- ① ファイル「売上実績データ」が表示されていることを確認します。
- ② シート「売上データ」の列番号【C:F】を選択し、右クリックします。
- ③ 《挿入》をクリックします。
※4列挿入されます。
- ④ シート「商品一覧」のセル範囲【B1:E1】を選択します。
- ⑤ 《ホーム》タブを選択します。
- ⑥ 《クリップボード》グループの  (コピー)をクリックします。
- ⑦ シート「売上データ」のセル【C1】をクリックします。
- ⑧ 《クリップボード》グループの  (貼り付け)をクリックします。
- ⑨ セル【C2】に「=VLOOKUP(\$B2,商品一覧!\$A\$2:\$E\$34,2,FALSE)」と入力します。
- ⑩ セル【C2】を選択し、右下の  (フィルハンドル)をセル【F2】までドラッグします。
- ⑪ セル【D2】を「=VLOOKUP(\$B2,商品一覧!\$A\$2:\$E\$34,3,FALSE)」と修正します。
- ⑫ セル【E2】を「=VLOOKUP(\$B2,商品一覧!\$A\$2:\$E\$34,4,FALSE)」と修正します。
- ⑬ セル【F2】を「=VLOOKUP(\$B2,商品一覧!\$A\$2:\$E\$34,5,FALSE)」と修正します。
- ⑭ セル範囲【C2:F2】を選択し、右下の  (フィルハンドル)をダブルクリックします。
※列番号【C:F】の列幅を調整しておきましょう。

●MID関数・VLOOKUP関数(カテゴリコード・商品カテゴリの表示)

- ① シート「売上データ」の列番号【C:D】を選択し、右クリックします。
- ② 《挿入》をクリックします。
※2列挿入されます。